目　　次

Ⅰ　調査概要 …… 1
　1　調査の目的 …… 1
　2　調査内容 …… 1
　3　調査実施概要 …… 1
　4　回収状況 …… 2
　5　報告書内のデータ記述について …… 2
Ⅱ　調査結果要旨 …… 3
　1　社会における制度・慣行について …… 3
　2　男女共同参画に関する教育・学習について …… 6
　3　パートナー間の暴力について …… 6
　4　男女が共に子育てや介護等に主体的に関わることができる環境について …… 7
　5　意思決定の過程への女性の参画について …… 9
　6　男女が共に能力を発揮できる就業環境について …… 10
　7　地域社会の一員としての活動について …… 10
　8　実践的な取組の推進について …… 11
　9　その他（男女共同参画関係・性の多様性等）について …… 11
Ⅲ　回答者の属性 …… 13
Ⅳ　調査結果 …… 15
　1　社会における制度・慣行について …… 15
　　1.静岡県における男女共同参画の機会の確保 …… 15
　　2.社会全体における男女平等感 …… 18
　　3.各分野における男女平等感 …… 21
　　4.男女の役割を固定的に考えることに関する意識 …… 47
　　5.男女の役割を固定的に考えることに反対の理由 …… 51
　　6.男女の役割を固定的に考えることに賛成の理由 …… 52
　　7.地域や勤務先における男女の役割の現状 …… 53
　　8.地域や勤務先における男女の役割についての考え …… 73
　2　男女共同参画に関する教育・学習について …… 98
　　1.人権の尊重、男女平等を推進する教育 …… 98
　　2.子どもが男の子の場合の親の希望 …… 101
　　3.子どもが女の子の場合の親の希望 …… 102
　3　パートナー間の暴力について …… 103
　　1.ドメスティック・バイオレンスの経験 …… 103
　　2.ドメスティック・バイオレンスだと思う行為 …… 105
　　3.ドメスティック・バイオレンスをなくすために重要なこと …… 120
　4　男女が共に子育てや介護等に主体的に関わることができる環境について …… 124
　　1.家庭での役割分担 …… 124
　　2.家事にかける時間 …… 152
　　3.育児にかける時間 …… 160
　　4.男性が育児・介護・家事、地域活動に積極的に参加するために必要なこと …… 168

5　意思決定の過程への女性の参画について …… 169
1.管理的部門や指導的地位への女性登用が少ない理由 ……169
2.女性が自治会の長などの役職につくことが少ない理由 ……171
6　男女が共に能力を発揮できる就業環境について …… 173
1.女性が働く上で障害となること ……173
2.女性の社会参画を進めるために必要な行政の取組 ……177
7　地域社会の一員としての活動について …… 180
1.仕事と家庭生活、個人・地域の生活の希望優先度 ……180
2.仕事と家庭生活、個人・地域の生活の優先度の現実 ……182
8　実践的な取組の推進について …… 184
1.「静岡県男女共同参画センターあざれあ」の利用について ……184
2.「静岡県男女共同参画センターあざれあ」に期待している役割 ……186
9　その他（男女共同参画関係・性の多様性等）について …… 189
1.男女共同参画関係・性の多様性等に関する知識 ……189
2.性的マイノリティの方が身近にいるか ……196
3.性的マイノリティの方々に対する偏見や差別への対策 ……198
4.男女共同参画社会の実現のために重要な取組 ……200
Ⅴ　自由意見 …… 203
Ⅵ　集計表 …… 211
Ⅶ　調査票 …… 381